



社会にフォーカス

Vol. 10



スーパーマーケットの「地域貢献」

本県と茨城県に店舗を展開するスーパーマーケットチェーンが、ほぼ全ての店舗に電気自動車（EV）の急速充電器を配備し、平成27年3月1日から利用客を対象に有料サービスを開始しました。その目的は次のとおりだそうです。

- 地球環境に優しい電気自動車の普及を促進させ、環境負荷低減に貢献する。
- 「買い物ついでに充電」というスタイルを確立することで、利用客の利便性を高める。容を踏まえておくことが必要です。



同社の担当者は、「これまで環境保護活動の一環として、各店舗で使用済み天ぷら油やエコキャップ、食品トレーなどの回収に取り組んできたが、電気自動車の急速充電器設置など、環境保護や地球温暖化防止等に取り組むことで、今後も地域に貢献できる道を探っていきたい。」と話しています。

さて、スーパーマーケットの「地域貢献」に関わる内容について、学習指導要領及び解説編では、それぞれ次のように示しています。

〈小学校学習指導要領では〉

〔第3学年〕2 内容 (2)

- ア (イ) 販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。（下線は筆者）

〈小学校学習指導要領解説 社会編では〉

例えば、消費者はどのようなことを願って買い物をしているか、商店の人は消費者の願いに応え売り上げを高めるためにどのような工夫をしているか（中略）販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考えたりして（中略）表現する。

そして、これらのことを受け、教科書（『新しい社会3』東京書籍）では、スーパーマーケットの地域貢献に関わる事象として、リサイクルや障がい者への配慮等の具体的な事例を紹介し、「地域貢献」という言葉について、次のように説明しています。

〈教科書では〉

地いきこうけん

品物を売るだけではなく、地いきの人々に役に立つようにすることです。地いきこうけんをすることで、店も地いきの人々に大切にされます。（下線は筆者）



「社会科授業グレードアップ」のコーナーでは、スーパーマーケットの地域貢献に視点を当てた授業づくりについて紹介しています！